

平成28年度 事務事業評価シート

<事業の名称等>

予算	款	02	総務費	項	01	総務管理費	目	06	企画費
大	事業	051	企画事業						
中	事業	01	企画事務事業						

1.事業の位置付け

総合計画	基本構想	1	住民とともに育むまちづくり	所管部局	総合政策部
	基本計画	1-2	効率的な行財政運営の推進		企画情報課
総合戦略	政策パッケージ	5	都市基盤整備		
	施策	5-1	市街地・住環境の整備		
事業区分	自治事務（任意的なもの）		事業種別	ソフト事業	
根拠法令	無				
根拠例規	有		坂井市寄附市民参画条例等		
関連計画・マニュアル	無				

2.事業の目的・概要

目的・趣旨	コミュニティ助成事業を活用し、地域コミュニティ活動の充実・強化を図るとともに、寄附市民参画制度の拡充をする。また、庁内の横断的な調整を図る。
実方手法等	<ul style="list-style-type: none"> 自治総合センターのコミュニティ助成事業等を活用し地域コミュニティ活動活性化のための支援（補助）をする。 寄附市民参画制度により市民提案事業を実現しつつ協働のまちづくりを推進する。 <ul style="list-style-type: none"> (1) 市民提案事業の公募・決定 (2) 返礼品導入にあたっての環境整備

3.事業のコスト

(単位：千円)

		平成28年度	平成27年度	平成26年度
コスト	事業費	6,771	32,457	11,233
	人件費	3,357	11,445	9,277
	総事業費	10,128	43,902	20,510
人員	正職員	0.50 人	1.61 人	1.32 人
	臨時職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	人員計	0.50 人	1.61 人	1.32 人
財源内訳	国県支出金	0	9,791	61
	その他特定財源	4,640	7,500	7,100
	一般財源	5,488	26,611	13,349

4. 事業の成果

評価指標		単位	年度	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度
指標	コミュニティ助成事業実施件数	件	目標	2	2	2	2
			実績	2	3	3	4
			達成率(%)	100.00	150.00	150.00	200.00
指標の説明							
指標	コミュニティ助成交付金	円	目標	5,000	5,000	5,000	5,000
			実績	4,400	7,500	7,100	7,300
			達成率(%)	88.00	150.00	142.00	146.00
指標の説明							
指標	寄附市民参画新規提案事業数	件	目標	1	1	1	1
			実績	4	1	0	0
			達成率(%)	400.00	100.00	0.00	0.00
指標の説明							
指標			目標				
			実績				
			達成率(%)	0.00	0.00	0.00	0.00
指標の説明							
指標に基づく評価	コミュニティ助成事業は、概ね目標を達成しており、引き続き自治総合センターを活用し活動活性化を図っていく。寄附市民参画制度においては、平成27年まで、目標額に対してマンネリ化などの課題もあり、寄附額が集まるスピードが鈍化しており、市民の関心を促すためにも、事業費を大きくした上で新たに4事業を市民提案事業として認定し、当初の目標を達成した						

5. 事業に対する評価

現状と課題	効率性に課題	
	寄附市民参画制度は、市民の夢を実現していくことで、協働のまちづくりを推進していくべきところであるが、マンネリ化等により寄附額が集まるスピードが鈍化しており、市民の関心を促すことに苦慮している。	
これまでの見直しや改善等の実績	寄附市民参画制度への関心を促すため、返礼品を導入し寄附額が集まるスピードを押し上げつつ、これまでより事業費を拡大した新たな4事業を認定し寄附を募っていくこととした。	

6. 今後の方向性

短期的な方向性		継続	中長期的な方向性		継続
目標年度	平成38年度		目標年度	平成38年度	
方向性の説明	コミュニティ助成事業は、地域のコミュニティ活動の強化に大きく寄与しており引き続き自治総合センターの助成を活用しながら実施していく。また、寄附市民参画制度は、人口減少という課題をかかえる坂井市において、新たな自主財源を確保しつつ、市民との協働によるまちづくりを実現する重要なツールであり引き続き実施していく。				

平成28年度 事務事業評価シート

<事業の名称等>

予算	款	02	総務費	項	01	総務管理費	目	06	企画費
大事業	051	企画事業							
中事業	06	地域おこし協力隊事業							

1.事業の位置付け

総合計画	基本構想	3	地域の活力を創造するまちづくり	所管部局	総合政策部
	基本計画	3-7	定住・交流の促進		企画情報課
総合戦略	政策パッケージ	1	移住・定住の促進		
	施策	1-3	IJターンの促進		
事業区分	自治事務（任意的なもの）		事業種別	ソフト事業	
根拠法令	無				
根拠例規	有		坂井市地域おこし協力隊設置要綱、坂井市緑のふるさと協力隊設置要綱ほか		
関連計画・マニュアル	無				

2.事業の目的・概要

目的・趣旨	竹田地区に集落支援員、地域おこし協力隊（緑のふるさと協力隊含む）を配置し、地域活動に対する支援を行うことで、集落の維持・活性化を図る。
実施手段等	平成28年度 集落支援員 1名 緑のふるさと協力隊 1名 地域おこし協力隊 2名 出身地別隊員数 関東 3名

3.事業のコスト

(単位：千円)

		平成28年度	平成27年度	平成26年度
コスト	事業費	3,108	3,023	2,264
	人件費	5,836	5,322	3,163
	総事業費	8,944	8,345	5,427
人員	正職員	0.25 人	0.46 人	0.45 人
	臨時職員	3.00 人	1.00 人	0.00 人
	人員計	3.25 人	1.46 人	0.45 人
財源内訳	国県支出金	1,919	1,495	500
	その他特定財源			
	一般財源	7,025	6,850	4,927

4. 事業の成果

評価指標		単位	年度	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度
指標	隊員の定住化	人	目標	3	2	1	1
			実績	0	0	0	0
			達成率(%)	0.00	0.00	0.00	0.00
指標の説明							
活動	隊員数	人	目標	3	2	1	1
			実績	3	2	1	1
			達成率(%)	100.00	100.00	100.00	100.00
指標の説明							
活動	集落支援員数	人	目標	1	2	1	1
			実績	1	2	1	1
			達成率(%)	100.00	100.00	100.00	100.00
指標の説明							
活動	Iターン者数	人	目標	3	2	1	1
			実績	3	2	1	1
			達成率(%)	100.00	100.00	100.00	100.00
指標の説明							
指標に基づく評価	隊員の定住化としては、平成24年度の1名となっているが、現在、活動している隊員のなかで任期満了後の定住を明言している者もあり、一定の成果は上がっているものと考えている。						

5. 事業に対する評価

現状と課題	効率性に課題	
	現在、週一回のミーティングを開催しているが、地区民から隊員の活動が見えにくいとの声も頂くので、情報発信の強化や課題を整理するために月1回程度の連絡会を創設するべきと考えている。	
これまでの見直しや改善等の実績	地域おこし協力隊は、全国で激増しており、自治体間での隊員争奪競争も目立ってきているなか、本市においては、確実な隊員確保のため募集要項の内容や待遇の見直しなどを実施している。	

6. 今後の方向性

短期的な方向性		改善（見直し）	中長期的な方向性		継続
目標年度	平成29年度		目標年度		
方向性の説明	<ul style="list-style-type: none"> 平成29年度において、集落支援員、隊員及び担当者間の連絡・支援体制の強化を図るため、1カ月に1回程度の連絡会議を創設する。また、週間行動の報告を義務づけることにより、隊員の活動内容を把握できるよう改善する。 「まちおこし」や「まちづくり」のあらゆる場面において、地域おこし協力隊の活用は効果的であるため、今後も積極的に導入していきたい。 				

平成28年度 事務事業評価シート

<事業の名称等>

予算	款	02	総務費	項	01	総務管理費	目	06	企画費
大	事業	051	企画事業						
中	事業	07	三国湊賑わい創出事業						

1.事業の位置付け

総合計画	基本構想	3	地域の活力を創造するまちづくり		所管部局	総合政策部
	基本計画	3-7	定住・交流の促進			企画情報課
総合戦略	政策パッケージ	4	経済・観光の活性化			
	施策	4-4	観光の振興			
事業区分	自治事務（任意的なもの）		事業種別	ソフト事業		
根拠法令	無					
根拠例規	有		坂井市三国湊町家活用プロジェクト事業費補助金交付要綱			
関連計画・マニュアル	有		三国湊町家再生ビジョン計画、三国まちづくりビジョン			

2.事業の目的・概要

目的・趣旨	三国湊地区における伝統的民家の有効活用を図ることで、町中の空き家解消、新規創業者の誘致、新たな観光地のシンボルによる賑わいの創出を目的とする。
実施手段等	<ul style="list-style-type: none"> 平成25年度～平成27年度 三国湊町家活用PJの実施【空き町屋改修数】 平成26年度 2件 平成27年度 4件 平成28年度～平成29年度 旧大木道具店の活用者募集及び改修工事

3.事業のコスト

(単位：千円)

		平成28年度	平成27年度	平成26年度	
コスト	事業費	700	12,711		
	人件費	6,713	3,057		
	総事業費	7,413	15,768	0	
人員	正職員	1.00 人	0.43 人		
	臨時職員	0.00 人	0.00 人		
	人員計	1.00 人	0.43 人	0.00 人	
財源内訳	国県支出金		12,689		
	その他特定財源				
	一般財源	7,413	3,079	0	

4. 事業の成果

評価指標		単位	年度	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年
指標	三国湊地区における観光客入込数	人	目標	80,000	70,000	75,000	70,000
			実績	78,000	81,000	64,000	76,000
			達成率(%)	97.50	115.71	85.33	108.57
指標の説明							
活動	PJを活用した新規創業者数	件	目標	0	4	2	
			実績	0	4	2	
			達成率(%)	0.00	100.00	100.00	0.00
指標の説明		三国湊町家活用PJ（H25～H27）					
活動	空き家を活用した新規創業者数	件	目標	1	4	2	
			実績	2	4	2	
			達成率(%)	200.00	100.00	100.00	0.00
指標の説明		三国湊町家活用PJ活用者含む					
活動	詰所三国利用者数	人	目標	500	50		
			実績	538	39		
			達成率(%)	107.60	78.00	0.00	0.00
指標の説明		H27年12月オープン					
指標に基づく評価	平成25年度～平成27年度の3か年度において、空き家利活用の先導事例となる三国湊町家PJを実施し、6件の空き家を改修し入居者を募ったことにより、平成28年度において、空き家を利活用した新規創業者が2件増加することとなった。観光客入込数は、年度により浮き沈みがあるものの堅調に推移している。						

5. 事業に対する評価

現状と課題	効率性に課題	
	民間企業連携するなど新規創業者が出店しやすい環境づくりが必要と考えている。	
これまでの見直しや改善等の実績		

6. 今後の方向性

短期的な方向性		中長期的な方向性		継続
目標年度		目標年度		
方向性の説明	<ul style="list-style-type: none"> 平成30年度において、地区のランドマーク的建物である旧大木道具店を改修し、平成31年春の開業を目指す。 今後5年間に、新規創業者数をさらに増加させる仕組みを構築し、観光客入込数の増加による賑わい創出を図る。 			

平成28年度 事務事業評価シート

<事業の名称等>

予算	款	02	総務費	項	01	総務管理費	目	06	企画費
大	事業	051	企画事業						
中	事業	08	竹田地区活性化事業						

1.事業の位置付け

総合計画	基本構想	3	地域の活力を創造するまちづくり		所管部局	総合政策部
	基本計画	3-7	定住・交流の促進			企画情報課
総合戦略	政策パッケージ	4	経済・観光の活性化			
	施策	4-4	観光の振興			
事業区分	自治事務（任意的なもの）		事業種別	補助金事業（事業補助）		
根拠法令						
根拠例規	有	坂井市ふるさと茶屋整備支援事業費補助金交付要綱				
関連計画・マニフェスト	有	竹田の里将来ビジョン、竹田地区空き家活用プラン				

2.事業の目的・概要

目的・趣旨	空き家活用事業や農山村交流事業等を通して、地域振興や賑わい創出を図り、竹田地区の活性化を推進する。
実方手法等	<ul style="list-style-type: none"> 坂井市ふるさと茶屋整備支援事業【補助金】 事業実施主体・・・一般社団法人 竹田文化共栄会 平成28年度 実施設計 平成29年度 改修工事

3.事業のコスト

(単位：千円)

		平成28年度	平成27年度	平成26年度
コスト	事業費	1,495		
	人件費	4,699		
	総事業費	6,194	0	0
人員	正職員	0.70 人	人	人
	臨時職員	0.00 人	人	人
	人員計	0.70 人	0.00 人	0.00 人
財源内訳	国県支出金	996		
	その他特定財源			
	一般財源	5,198	0	0

4. 事業の成果

評価指標		単位	年度	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年
指標	竹田地区観光客入込数	人	目標	150,000	150,000	150,000	150,000
			実績	162,186	134,854	157,132	160,021
			達成率(%)	108.12	89.90	104.75	106.68
成果	指標の説明						
たけくらへ温泉、しだれ桜まつり、水車メロディパーク、千古の家、ちくちくぼんぼん計							
指標	ちくちくぼんぼん宿泊者数	人	目標	3,000			
			実績	2,817			
			達成率(%)	93.90	0.00	0.00	0.00
活動	指標の説明						
ちくちくぼんぼん宿泊者数（H28. 7. 1～）							
指標	ちくちくぼんぼん利用者数	人	目標	10,000			
			実績	14,208			
			達成率(%)	142.08	0.00	0.00	0.00
活動	指標の説明						
ちくちくぼんぼん利用者数（宿泊者含む）							
指標			目標				
			実績				
			達成率(%)	0.00	0.00	0.00	0.00
指標	指標の説明						
竹田地区全体の観光客入込数は、年によってばらつきがあるものの約15万人前後で推移しているが、平成28年度の実績では、ちくちくぼんぼんの利用者数が加わっているためちくちくぼんぼん以外の施設への入込数は、平成27年度以降、13万人台で推移していると言える。							

5. 事業に対する評価

現状と課題	有効性に課題	
	ちくちくぼんぼんの利用者数は、当初の想定を上回るものであったが、ちくちくぼんぼんの集客力をいかに他の施設へ波及できるかが課題である。	
これまでの見直しや改善等の実績		

6. 今後の方向性

短期的な方向性		中長期的な方向性		継続
目標年度		目標年度		
方向性の説明	平成29年度において、竹田地区の古民家1棟を、地域住民の交流拠点、シェアハウス及びお試し移住の機能を持つ坂井市ふるさと茶屋へ改修する。また、平成30年度以降は、事業主体による運営により、他の施設との連携を図りながら地区全体の活性化を目指す。			

平成28年度 事務事業評価シート

<事業の名称等>

予算	款	02	総務費	項	01	総務管理費	目	06	企画費
大事業	051	企画事業							
中事業	08	農山漁村活性化プロジェクト支援事業							

1.事業の位置付け

総合計画	基本構想	8	地域全体でもてなすまちづくり	所管部局	総合政策部
	基本計画	8-1	観光資源の個性と魅力づくり		企画情報課
総合戦略	政策パッケージ	4	経済・観光の活性化		
	施策	4-4	観光の振興		
事業区分	自治事務（任意的なもの）		事業種別	ハード事業	
根拠法令	有	農山漁村の活性化のための定住等及び地域間交流の促進に関する法律			
根拠例規	無				
関連計画・マニュアル	無				

2.事業の目的・概要

目的・趣旨	<p>廃園となった旧竹田保育所の空きスペースを有効活用を図り、地域の賑わいを創出する。</p>
実施方法等	<p>旧竹田保育所をレストランに改修する</p> <p>設計委託料 1,404千円 監理委託料 1,101千円 工事請負費 28,321千円 備品購入費 4,035千円</p>

3.事業のコスト

(単位：千円)

		平成28年度	平成27年度	平成26年度
コスト	事業費	35,037	430,844	11,174
	人件費	2,350	10,024	
	総事業費	37,387	440,868	11,174
人員	正職員	0.35 人	1.41 人	人
	臨時職員	0.00 人	0.00 人	人
	人員計	0.35 人	1.41 人	0.00 人
財源内訳	国県支出金	10,000	214,358	8,100
	その他特定財源	17,800	178,800	
	一般財源	9,587	47,710	3,074

4. 事業の成果

評価指標		単位	年度	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年
指標	レストラン利用者数	人	目標				
			実績				
成果	達成率(%)		0.00	0.00	0.00	0.00	
指標の説明		H29.4.23開業のため実績なし					
指標	レストラン建築にかかる打合せ回数	件	目標	6			
			実績	6			
活動	達成率(%)		100.00	0.00	0.00	0.00	
指標の説明							
指標			目標				
			実績				
	達成率(%)		0.00	0.00	0.00	0.00	
指標の説明							
指標			目標				
			実績				
	達成率(%)		0.00	0.00	0.00	0.00	
指標の説明							
指標に基づく評価	旧竹田小改修工事を円滑に実施するための工程会議を6回開催した。						

5. 事業に対する評価

現状と課題	効率性に課題	有効性に課題	
	今回の事業で整備したレストランは平成29年4月23日にオープンしており、オープン後の利用者は順調である。今後は、地元の食材使用率の向上による遊休農地の活用等地域に貢献する運営が望まれる。		
これまでの見直しや改善等の実績			

6. 今後の方向性

短期的な方向性		中長期的な方向性		継続
目標年度		目標年度		
方向性の説明	今後、約5年間でレストランを核とした地元産食材の開発、生産体制を確立し、地域活性化に資する施設運営を目指す。			

平成28年度 事務事業評価シート

<事業の名称等>

予算	款	02	総務費	項	01	総務管理費	目	06	企画費
大	事業	051	企画事業						
中	事業	16	サイン整備事業						

1.事業の位置付け

総合計画	基本構想	1	住民とともに育むまちづくり		所管部局	総合政策部
	基本計画	1-2	効率的な行財政運営の推進			企画情報課
総合戦略	政策パッケージ	5	都市基盤整備			
	施策	5-4	公共施設の効率的な維持管理			
事業区分	自治事務（任意的なもの）		事業種別	ハード事業		
根拠法令						
根拠例規						
関連計画・マニフル	有	坂井市サイン実施計画				

2.事業の目的・概要

目的・趣旨	各関連計画の整合性を図るとともに、デザインの統一や連続性に配慮しつつ、良好な景観形成や市民の安全・安心を確保するため「坂井市サイン実施計画」に基づき市内のサイン整備を行う。
実施手法等	・整備箇所については、予算額内で、平成30年国体等を考慮しながら、優先順位を付けて工事を実施している。

3.事業のコスト

(単位：千円)

		平成28年度	平成27年度	平成26年度
コスト	事業費	24,681	14,993	3,672
	人件費	1,678		
	総事業費	26,359	14,993	3,672
人員	正職員	0.25 人	人	人
	臨時職員	0.00 人	人	人
	人員計	0.25 人	0.00 人	0.00 人
財源内訳	国県支出金			
	その他特定財源			
	一般財源	26,359	14,993	3,672

4. 事業の成果

評価指標		単位	年度	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年
指標	サインの新設	件	目標	60	0		
			実績	20	0		
			達成率(%)	33.33	0.00	0.00	0.00
指標の説明							
指標	サインの更新	件	目標	34	45		
			実績	63	54		
			達成率(%)	185.29	120.00	0.00	0.00
指標の説明							
活動	サインの撤去	件	目標	73	16		
			実績	86	30		
			達成率(%)	117.81	187.50	0.00	0.00
指標の説明							
指標			目標				
			実績				
			達成率(%)	0.00	0.00	0.00	0.00
指標の説明							
指標に基づく評価		予算額内で、適正に整備できている。					

5. 事業に対する評価

現状と課題	有効性に課題 有名観光地等の定点サインについては、多言語表記へと変更しているが、誘導サインについては、対応できていない状況がある。
これまでの見直しや改善等の実績	整備内容については、様々な状況を勘案しながら臨機応変に対応している。

6. 今後の方向性

短期的な方向性		中長期的な方向性		完了
目標年度		目標年度	平成34年度	
方向性の説明	坂井市サイン計画の最終年度である平成34年度に向け、市内のサインを整備していく。			

平成28年度 事務事業評価シート

<事業の名称等>

予算	款	02	総務費	項	01	総務管理費	目	06	企画費
大事業	051	企画事業							
中事業	021	人口減少対策事業							

1.事業の位置付け

総合計画	基本構想	3	地域の活力を創造するまちづくり	所管部局	総合政策部
	基本計画	3-7	定住・交流の促進		企画情報課
総合戦略	政策パッケージ				
	施策				
事業区分	自治事務（任意的なもの）		事業種別	ソフト事業	
根拠法令					
根拠例規					
関連計画・マニュアル					

2.事業の目的・概要

目的・趣旨	急激な少子高齢化の進展に的確に対応し、人口減少に歯止めをかえ「地方創生」の課題に取り組むため、自主性・主体性を発揮しながら「坂井市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の施策を実施していく
実施手段等	○竹田Tキャンプ事業：関西の学生等が「衣食住」をテーマとした地域や市内小学生とのワークショップを通じて市への愛着を醸成し将来的な定住に繋げる。139名/年参加 ○特別区全国連携事業：品川区親子対象の里海里山モニターツアーを実施し、今後の都会からの交流人口増に繋げる。10組25名参加 ○高校生未来塾事業：高校生が地域の魅力を発見するためのドキュメンタリー映像作成や中学生に対する事業を通じてシビックプライドを醸成する。141名参加

3.事業のコスト

(単位：千円)

		平成28年度	平成27年度	平成26年度	
コスト	事業費	6,823			
	人件費	6,042			
	総事業費	12,865	0	0	
人員	正職員	0.90 人	人	人	
	臨時職員	0.00 人	人	人	
	人員計	0.90 人	0.00 人	0.00 人	
財源内訳	国県支出金	2,770			
	その他特定財源				
	一般財源	10,095	0	0	

4. 事業の成果

評価指標		単位	年度	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年
指標	竹田Tキャンプ年間参加者	人	目標	100.0			
			実績	139.0			
			達成率(%)	139.00	0.00	0.00	0.00
指標の説明							
指標			目標				
			実績				
			達成率(%)	0.00	0.00	0.00	0.00
指標の説明							
指標			目標				
			実績				
			達成率(%)	0.00	0.00	0.00	0.00
指標の説明							
指標			目標				
			実績				
			達成率(%)	0.00	0.00	0.00	0.00
指標の説明							
指標に基づく評価		関西圏の若者に市の魅力に気づいていただきつつ、市民との交流により愛着を持っていただくきっかけづくりはできている。					

5. 事業に対する評価

現状と課題	効率性に課題		
	実際に定住や移住の結果ができるまでには、持続的かつ長期的な取組みが必要であるが、財源の確保と地域や学校の理解をさらに深化させる必要がある		
これまでの見直しや改善等の実績			

6. 今後の方向性

短期的な方向性		中長期的な方向性		継続
目標年度		目標年度	平成32年度	
方向性の説明	坂井市まち・ひと・しごと・創生総合戦略の中でも、定住視点の施策を軸足に、国の交付金等を有効活用しながら引き続き実践していく。地方創生に関する国の交付金の在り方に変更があった場合は、総合戦略全体で選択と集中すべき事業について見直しを実施し再考する。			

平成28年度 事務事業評価シート

<事業の名称等>

予算	款	02 総務費	項	01 総務管理費	目	06 企画費
大事業	101	地域交通対策事業				
中事業	16	地域交通対策事業				

1. 事業の位置付け

総合計画	基本構想	4	安全で快適な暮らしを支えるまちづくり	所管部局	総合政策部
	基本計画	4-7	公共交通網の整備・充実		企画情報課
総合戦略	政策パッケージ	5	都市基盤整備		
	施策	5-2	交通基盤の充実		
事業区分	自治事務（任意的なもの）		事業種別	ソフト事業	
根拠法令					
根拠例規					
関連計画・マニュアル	有	坂井市公共交通計画、えちぜん鉄道交通圏地域公共交通網形成計画他			

2. 事業の目的・概要

目的・趣旨	地域交通機関に対する啓発活動、さらには利用環境を整備することで、利用促進及び利便性の向上を図る。
実方手法等	<ul style="list-style-type: none"> 高速道路対策事業 5年に1度の山久保跨道橋の点検を実施した。 空港対策事業 1年おきに開催される福井空港スカイフェスを開催した。 鉄道交通対策事業

3. 事業のコスト

(単位：千円)

		平成28年度	平成27年度	平成26年度
コスト	事業費	72,335	56,555	62,760
	人件費	3,088		
	総事業費	75,423	56,555	62,760
人員	正職員	0.46 人	人	人
	臨時職員	0.00 人	人	人
	人員計	0.46 人	0.00 人	0.00 人
財源内訳	国県支出金			
	その他特定財源	8,665	1,667	2,472
	一般財源	66,758	54,888	60,288

4. 事業の成果

評価指標		単位	年度	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年
指標	えちぜん鉄道乗降数（全駅）	人	目標	3,501,110			
			実績	3,558,628	3,459,171		
			達成率(%)	101.64	0.00	0.00	0.00
指標の説明							
指標	えちぜん鉄道乗降数（市内9駅）	人	目標	460,000	450,000	460,000	460,000
			実績	435,902	459,914	447,894	460,528
			達成率(%)	94.76	102.20	97.37	100.11
指標の説明							
活動	坂井市えちぜん鉄道サポーターズクラブ会員数	人	目標	715	735	730	725
			実績	696	710	731	726
			達成率(%)	97.34	96.60	100.14	100.14
指標の説明							
活動			目標				
			実績				
			達成率(%)	0.00	0.00	0.00	0.00
指標の説明							
指標に基づく評価		市内9駅の乗降者数及びサポーターズクラブ会員数は、減少傾向にあるが相互乗り入れの効果によりえちぜん鉄道全体の乗降者数は、増加傾向である。					

5. 事業に対する評価

現状と課題	効率性に課題	有効性に課題	
	えちぜん鉄道と連携しながら、利用促進活動を実施し、減少傾向である利用者及びサポーターの人数の増加に繋げていく必要がある。		
これまでの見直しや改善等の実績	平成28年度では、三国、春江、坂井、丸岡それぞれ独立していたサポート団体を、坂井市一本に統一し、効率性を向上させた。また、市内駅で唯一、風雨にさらされていた太郎丸駅舎を改修し、機能向上を図った。		

6. 今後の方向性

短期的な方向性		中長期的な方向性		継続
目標年度		目標年度		
方向性の説明	市内9駅の利便性の向上を図るため、条件の整った駅から設備の内容を充実させていく。また、統一したサポート団体主催の利用促進イベントを企画し、利用者及びサポータークラブの拡大に努めていく。			

平成28年度 事務事業評価シート

<事業の名称等>

予算	款	02	総務費	項	01	総務管理費	目	06	企画費
大事業	151	港湾振興事業							
中事業	01	港湾振興事業							

1.事業の位置付け

総合計画	基本構想	2	多様な都市活動を支えるまちづくり	所管部局	総合政策部
	基本計画	2-3	広域ネットワークの形成		企画情報課
総合戦略	政策パッケージ	5	都市基盤整備		
	施策	5-2	交通基盤の充実		
事業区分	自治事務（任意的なもの）		事業種別	ソフト事業	
根拠法令	無				
根拠例規	無				
関連計画・マニュアル	有		坂井市都市計画マスタープラン		

2.事業の目的・概要

目的・趣旨	福井港を広域ネットワークの拠点と位置付け、地域経済の活性化と産業の発展を目指す。
実方手法手段	<ul style="list-style-type: none"> 福井港の振興に関し所属する各種団体に対する負担金 福井臨海工業地帯対策協議会への補助金

3.事業のコスト

(単位：千円)

		平成28年度	平成27年度	平成26年度
コスト	事業費	1,053	1,003	1,128
	人件費	1,678	2,915	1,406
	総事業費	2,731	3,918	2,534
人員	正職員	0.25 人	0.41 人	0.20 人
	臨時職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	人員計	0.25 人	0.41 人	0.20 人
財源内訳	国県支出金			
	その他特定財源	750	1,003	750
	一般財源	1,981	2,915	1,784

4. 事業の成果

評価指標		単位	年度	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年
指標	入港商船数	隻	目標	1,400	1,400	1,400	1,400
			実績	1,400	1,474	1,409	1,411
			達成率(%)	100.00	105.29	100.64	100.79
指標の説明							
指標	クルーズ船入港数	隻	目標	1	1	1	1
			実績	0	0	1	1
			達成率(%)	0.00	0.00	100.00	100.00
指標の説明							
指標	取扱貨物量	t	目標	1,550,000	1,600,000	1,650,000	1,650,000
			実績	1,477,585	1,555,983	1,579,903	1,651,211
			達成率(%)	95.33	97.25	95.75	100.07
指標の説明							
指標			目標				
			実績				
			達成率(%)	0.00	0.00	0.00	0.00
指標の説明							
指標に基づく評価	福井港の活性化を図るため、関係機関に働きかけを行うとともに「親子見学会」を開催し、施設の説明や見学を通して港の役割について広く理解してもらうための周知に努めた。						

5. 事業に対する評価

現状と課題	有効性に課題	
	福井港内への砂の流入により、大型船の入港に影響を及ぼしている状態であり、なかなか誘致活動が進まない。一刻も早い砂流入対策が望まれる。	
これまでの見直しや改善等の実績	福井港の活性化を図るため、関係機関に働きかけを行うとともに「親子見学会」を開催し、施設の説明や見学を通して港の役割について広く理解してもらうための周知に努めた。	

6. 今後の方向性

短期的な方向性		中長期的な方向性		継続
目標年度		目標年度		
方向性の説明	平成29年度から県が砂流入対策工事に着手予定であり、早期の完成を要望するとともに関係機関と協力し、周知活動を実施していく。			

平成28年度 事務事業評価シート

<事業の名称等>

予算	款	02 総務費	項	01 総務管理費	目	08 情報管理費
大事業	051	情報管理事業				
中事業	01	庁内情報管理事業				

1.事業の位置付け

総合計画	基本構想	2	多様な都市活動を支えるまちづくり	所管部局	総合政策部
	基本計画	2-4	情報ネットワーク社会の構築		企画情報課
総合戦略	政策パッケージ				
	施策				
事業区分	自治事務（任意的なもの）		事業種別	ソフト事業	
根拠法令	無				
根拠例規	無				
関連計画・マニュアル	有		坂井市情報化計画		

2.事業の目的・概要

目的・趣旨	円滑に行政事務を遂行するために、情報システムの管理運営及び電子情報の処理について適正かつ効率的な運用及び保守を実施し、市民に対する行政サービスの向上を図るとともに、情報セキュリティ対策の抜本的強化を実施し、安定的な行政事務の運営を図ることにより、市民より信頼される電子自治体を構築し、運営することを目的とします。
実施方法等	<ul style="list-style-type: none"> 電子情報の適正かつ効率的な利用および管理を行うため、情報ネットワーク環境及び既存電算機器等の更新及び保守を行います。 情報セキュリティ対策の抜本的強化を図るため、各ネットワークの物理的分離を行います。

3.事業のコスト

(単位：千円)

		平成28年度	平成27年度	平成26年度
コスト	事業費	223,440	99,801	127,887
	人件費	6,042	6,398	4,638
	総事業費	229,482	106,199	132,525
人員	正職員	0.90 人	0.90 人	0.66 人
	臨時職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	人員計	0.90 人	0.90 人	0.66 人
財源内訳	国県支出金	11,835		
	その他特定財源	3,240	2,286	1,976
	一般財源	214,407	103,913	130,549

4. 事業の成果

評価指標		単位	年度	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年
指標	ネットワーク障害事故件数	回	目標	0	0	0	0
			実績	0	0	0	0
			達成率(%)	0.00	0.00	0.00	0.00
成果	指標の説明 情報ネットワーク環境及び電算機器等の障害事故の発生回数						
指標	個人情報漏えい事故	回	目標	0	0	0	0
			実績	0	0	0	0
			達成率(%)	0.00	0.00	0.00	0.00
成果	指標の説明 ウイルスメール等の攻撃による個人情報の流出事故発生件数						
指標			目標				
			実績				
			達成率(%)	0.00	0.00	0.00	0.00
成果	指標の説明						
指標			目標				
			実績				
			達成率(%)	0.00	0.00	0.00	0.00
成果	指標の説明						
指標に基づく評価	年々、情報ネットワーク環境等が複雑化することに伴い、導入システム及び電算機器等が増加していくが、障害事故が発生していない。また、ウイルスメール等の攻撃による個人情報流出事故も発生していない。引き続き、障害事故及び個人情報流出事故が発生しないように取り組んでいく。						

5. 事業に対する評価

現状と課題	有効性に課題 情報ネットワーク環境については、日々進化し複雑化していくため、担当職員の専門的な知識が要求される。また、業務システムや電算機器等が増加していくため、保守業務の増加が職員の負担となっている。
これまでの見直しや改善等の実績	業務SEを採用し、専門的な作業の補助や電算機器の初期設定作業を行ってもらった。

6. 今後の方向性

短期的な方向性		継続	中長期的な方向性		継続
目標年度	平成29年度		目標年度	平成30年度	
方向性の説明	情報ネットワークの障害事故や個人情報漏えい事故を防止するため、万全の体制を維持する必要がある。				

平成28年度 事務事業評価シート

<事業の名称等>

予算	款	02 総務費	項	01 総務管理費	目	08 情報管理費
大事業	051	情報管理事業				
中事業	06	地域情報化推進事業				

1.事業の位置付け

総合計画	基本構想	2	多様な都市活動を支えるまちづくり	所管部局	総合政策部
	基本計画	2-4	情報ネットワーク社会の構築		企画情報課
総合戦略	政策パッケージ				
	施策				
事業区分	自治事務（任意的なもの）		事業種別	ソフト事業	
根拠法令	無				
根拠例規	無				
関連計画・マニフェスト	有		坂井市情報化計画		

2.事業の目的・概要

目的・趣旨	ICT（情報通信技術）を活用することで、市民の利便性の向上を図るとともに、行政運営の簡素化および効率化を図ります。
実施手法等	インターネット環境を利用した各種電子申請が行えるよう、県が構築したシステムを住民が使用できるようにしました。

3.事業のコスト

(単位：千円)

		平成28年度	平成27年度	平成26年度
コスト	事業費	3,841	7,181	2,684
	人件費	2,819	2,986	4,638
	総事業費	6,660	10,167	7,322
人員	正職員	0.42 人	0.42 人	人
	臨時職員	0.00 人	0.00 人	人
	人員計	0.42 人	0.42 人	0.00 人
財源内訳	国県支出金	184	5,586	981
	その他特定財源			
	一般財源	6,476	4,581	6,341

4. 事業の成果

評価指標		単位	年度	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度
指標	電子申請数	件	目標	500	300	300	100
			実績	888	839	371	388
			達成率(%)	177.60	279.67	123.67	388.00
指標の説明		電子申請受付件数					
指標			目標				
			実績				
			達成率(%)	0.00	0.00	0.00	0.00
指標の説明							
指標			目標				
			実績				
			達成率(%)	0.00	0.00	0.00	0.00
指標の説明							
指標			目標				
			実績				
			達成率(%)	0.00	0.00	0.00	0.00
指標の説明							
指標に基づく評価		運用面の都合で電子申請が可能な手続きは限定されているが、実績的には増加傾向であるため、より利便性が向上するよう対応可能な業務の研究に取り組んでいく。					

5. 事業に対する評価

現状と課題	有効性に課題	効率性に課題	
	地域SNSは、登録者数の増加は見られないが、現在もなお活用している登録者がいるため、今後の対応を検討する必要がある。また、県が構築する中間サーバーや、それらに付随する各種システム（マイナポータル等）が新たに導入されるため、市民の利便性は向上すると思われるが、情報漏えいに対する対策や運用体制を強化する必要がある。		
これまでの見直しや改善等の実績	福井県電子自治体推進協議会が運営する電子申請システムとの連携を協議し、システム更新時に対応する方向性を決定した。		

6. 今後の方向性

短期的な方向性		継続	中長期的な方向性		継続
目標年度	平成29年度		目標年度	平成30年度	
方向性の説明	電子申請については、平成29年度より県が構築・運営するマイナポータル（子育てOSS）との連携が必要となるため、ネットワーク的な問題を解決し、情報漏えい防止の対策と保守運用のための体制を強化する必要がある。				

平成28年度 事務事業評価シート

<事業の名称等>

予算	款	02 総務費	項	01 総務管理費	目	08 情報管理費
大事業	101	広域圏事業				
中事業	01	広域圏事務事業				

1.事業の位置付け

総合計画	基本構想	1	住民とともに育むまちづくり	所管部局	総合政策部
	基本計画	1-2	効率的な行財政運営の推進		企画情報課
総合戦略	政策パッケージ				
	施策				
事業区分	自治事務（任意的なもの）		事業種別	ソフト事業	
根拠法令	無				
根拠例規	無				
関連計画・マニフェスト	有		坂井市情報化計画		

2.事業の目的・概要

目的・趣旨	福井坂井地区広域市町村圏事務組合で基幹系システムを共同利用することで、法改正等への迅速な対応と経費の圧縮を図りながら、市民等へのサービス向上と事務の効率化を推進することを目的とします。
実方手法等	25種の基幹系システムの運用・維持を、福井坂井地区広域市町村圏事務組合の構成市町である坂井市、あわら市、及び永平寺町の3自治体で行いました。

3.事業のコスト

(単位：千円)

		平成28年度	平成27年度	平成26年度	
コスト	事業費	198,351	313,282	257,541	
	人件費	3,625	3,839	3,865	
	総事業費	201,976	317,121	261,406	
人員	正職員	0.54 人	0.54 人	0.55 人	
	臨時職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人	
	人員計	0.54 人	0.54 人	0.55 人	
財源内訳	国県支出金	565	3,508	94,390	
	その他特定財源		13,924	6,813	
	一般財源	201,411	299,689	160,203	

4. 事業の成果

評価指標		単位	年度	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年
指標	共同利用システム数	システム	目標	25	25	25	25
			実績	25	25	25	25
			達成率(%)	100.00	100.00	100.00	100.00
成果	指標の説明 共同利用が可能な基幹系システム数						
指標			目標				
			実績				
			達成率(%)	0.00	0.00	0.00	0.00
指標	指標の説明						
指標			目標				
			実績				
			達成率(%)	0.00	0.00	0.00	0.00
指標	指標の説明						
指標			目標				
			実績				
			達成率(%)	0.00	0.00	0.00	0.00
指標	指標の説明						
指標に基づく評価							

5. 事業に対する評価

現状と課題	課題はない	
	平成27年7月22日に新たに締結した負担金に関する「確認書」に沿って算出された負担金額で、坂井市、あわら市、及び永平寺町の2市1町で共同利用をしている。	
これまでの見直しや改善等の実績		

6. 今後の方向性

短期的な方向性		継続	中長期的な方向性		継続
目標年度	平成29年度		目標年度	平成32年度	
方向性の説明	マイナンバーを利用した情報連携が平成29年度より開始されることにより、従来の基幹系システムの改修が増加するため、共同利用によるメリットが最大限生かされる迅速な対応や、効率的な改修手段を選択させる必要がある。				

平成28年度 事務事業評価シート

<事業の名称等>

予算	款	02 総務費	項	05 統計調査費	目	01 統計調査総務費
大	事業	051	統計管理事業			
中	事業	01	統計管理事業			

1.事業の位置付け

総合計画	基本構想	1	住民とともに育むまちづくり	所管部局	総合政策部
	基本計画	1-2	効率的な行財政運営の推進		企画情報課
総合戦略	政策パッケージ				
	施策				
事業区分	自治事務（任意的なもの）		事業種別	ソフト事業	
根拠法令	無				
根拠例規	有		坂井市補助金等交付規則、統計調査員確保対策事業委託要綱ほか		
関連計画・マニュアル	無				

2.事業の目的・概要

目的・趣旨	市民に対して統計調査業務の重要性、必要性などの啓発活動を実施します。また、正確で迅速な統計調査を確立するため、活動している市統計協会の運営と活動を支援します。
実手法手段	市が発行する広報媒体等を活用して、住民に周知します。

3.事業のコスト

(単位：千円)

		平成28年度	平成27年度	平成26年度	
コスト	事業費	425	423		
	人件費	3,222	1,137		
	総事業費	3,647	1,560	0	
人員	正職員	0.48 人	0.16 人		
	臨時職員	0.00 人	0.00 人		
	人員計	0.48 人	0.16 人	0.00 人	
財源内訳	国県支出金	36	33		
	その他特定財源				
	一般財源	3,611	1,527	0	

4. 事業の成果

評価指標		単位	年度	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年
指標	統計調査員確保対策事業の登録基準数	人	目標	180	180	180	180
			実績	79	74	82	82
			達成率(%)	44.01	41.23	45.56	45.56
指標の説明		坂井市統計協会会員数					
指標			目標				
			実績				
			達成率(%)	0.00	0.00	0.00	0.00
指標の説明							
指標			目標				
			実績				
			達成率(%)	0.00	0.00	0.00	0.00
指標の説明							
指標			目標				
			実績				
			達成率(%)	0.00	0.00	0.00	0.00
指標の説明							
指標に基づく評価	目標値については、「福井県統計調査員確保対策事業要綱」に規定されている数値。 (経済センサス-基礎調査の調査区数の2分の1)						

5. 事業に対する評価

現状と課題	課題はない		
これまでの見直しや改善等の実績			

6. 今後の方向性

短期的な方向性		継続	中長期的な方向性		継続
目標年度	平成29年度		目標年度	平成30年度	
方向性の説明	各種統計業務に必要な不可欠な人員の確保を補佐する組織「坂井市統計協会」の存続を継続させていく。				

平成28年度 事務事業評価シート

<事業の名称等>

予算	款	02 総務費	項	05 統計調査費	目	02 統計調査費
大事業	051	統計調査事業				
中事業	31	工業統計調査事業				

1.事業の位置付け

総合計画	基本構想	1	住民とともに育むまちづくり	所管部局	総合政策部
	基本計画	1-2	効率的な行財政運営の推進		企画情報課
総合戦略	政策パッケージ				
	施策				
事業区分	法定受託事務		事業種別	ソフト事業	
根拠法令	有	統計法、工業統計調査規則			
根拠例規	無				
関連計画・マニフェスト	無				

2.事業の目的・概要

目的・趣旨	我が国の工業の実態を明らかにし、経済白書、中小企業白書などの経済分析及び各種の経済指数ヘデータを提供することを目的とし、その調査結果は、国や都道府県などの産業施策のための基礎資料とします。 (経済センサス実施年度については、実施しません。)
実方手法手段	

3.事業のコスト

(単位：千円)

		平成28年度	平成27年度	平成26年度
コスト	事業費	8	3	869
	人件費	1,343	1,137	1,546
	総事業費	1,351	1,140	2,415
人員	正職員	0.20 人	0.16 人	0.22 人
	臨時職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	人員計	0.20 人	0.16 人	0.22 人
財源内訳	国県支出金	8	3	906
	その他特定財源			
	一般財源	1,343	1,137	1,509

4. 事業の成果

評価指標		単位	年度	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年
指標	目標	実績					
		達成率(%)		0.00	0.00	0.00	0.00
	指標の説明						
指標	目標	実績					
		達成率(%)		0.00	0.00	0.00	0.00
	指標の説明						
指標	目標	実績					
		達成率(%)		0.00	0.00	0.00	0.00
	指標の説明						
指標	目標	実績					
		達成率(%)		0.00	0.00	0.00	0.00
	指標の説明						
指標に基づく評価	法令等により市の事務となっているため、目標指数設定なし。						

5. 事業に対する評価

現状と課題	課題はない		
これまでの見直しや改善等の実績			

6. 今後の方向性

短期的な方向性		継続	中長期的な方向性		継続
目標年度	平成29年度		目標年度	平成30年度	
方向性の説明	適正、的確な調査を実施する。				

平成28年度 事務事業評価シート

<事業の名称等>

予算	款	02 総務費	項	05 統計調査費	目	02 統計調査費
大事業	051	統計調査事業				
中事業	41	学校基本調査事業				

1.事業の位置付け

総合計画	基本構想	1	住民とともに育むまちづくり	所管 部局	総合政策部
	基本計画	1-2	効率的な行財政運営の推進		企画情報課
総合戦略	政策パッケージ				
	施策				
事業区分	法定受託事務		事業種別	ソフト事業	
根拠法令	有	統計法、学校基本調査規則第2条			
根拠例規	無				
関連計画・マニュアル	無				

2.事業の目的・概要

目的・趣旨	学校数、学級数（小中高など）、学部数（高等教育機関）、在学者数、長期欠席者数、教職員数、学校敷地の面積、学校建物の面積、学校経費、卒業生の進路状況など、教育行政の資料を得ることを目的とします。
実 方 施 法 手 段 ・	

3.事業のコスト

(単位：千円)

		平成28年度	平成27年度	平成26年度
コスト	事業費	33	32	32
	人件費	671	1,066	351
	総事業費	704	1,098	383
人員	正職員	0.10 人	0.15 人	0.05 人
	臨時職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	人員計	0.10 人	0.15 人	0.05 人
財 源 内 訳	国県支出金	31	32	31
	その他特定財源			
	一般財源	673	1,066	352

4. 事業の成果

評価指標		単位	年度	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年
指標	目標	実績					
		達成率(%)		0.00	0.00	0.00	0.00
	指標の説明						
指標	目標	実績					
		達成率(%)		0.00	0.00	0.00	0.00
	指標の説明						
指標	目標	実績					
		達成率(%)		0.00	0.00	0.00	0.00
	指標の説明						
指標	目標	実績					
		達成率(%)		0.00	0.00	0.00	0.00
	指標の説明						
指標に基づく評価	法令等により市の事務となっているため、目標指数設定なし。						

5. 事業に対する評価

現状と課題	課題はない		
これまでの見直しや改善等の実績			

6. 今後の方向性

短期的な方向性		継続	中長期的な方向性		継続
目標年度	平成29年度		目標年度	平成30年度	
方向性の説明	教育委員会と連携し、適正、的確な調査を実施する。				

平成28年度 事務事業評価シート

<事業の名称等>

予算	款	02 総務費	項	05 統計調査費	目	02 統計調査費
大事業	051	統計調査事業				
中事業	56	経済センサス活動調査事業				

1.事業の位置付け

総合計画	基本構想	1	住民とともに育むまちづくり	所管部局	総合政策部
	基本計画	1-2	効率的な行財政運営の推進		企画情報課
総合戦略	政策パッケージ				
	施策				
事業区分	法定受託事務		事業種別	ソフト事業	
根拠法令	有	統計法、経済センサス活動調査規則			
根拠例規	無				
関連計画・マニュアル	無				

2.事業の目的・概要

目的・趣旨	我が国の全産業分野における事業所及び企業の経済活動の実態を全国及び地域別に明らかにするとともに、事業所及び企業を調査対象とする各種統計調査の精度向上に資する母集団情報を得ることを目的とします。(5年毎実施)
実手法手段	

3.事業のコスト

(単位：千円)

		平成28年度	平成27年度	平成26年度
コスト	事業費	3,335	46	11
	人件費	3,894	2,559	1,124
	総事業費	7,229	2,605	1,135
人員	正職員	0.58 人	0.36 人	0.16 人
	臨時職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	人員計	0.58 人	0.36 人	0.16 人
財源内訳	国県支出金	3,335	45	11
	その他特定財源			
	一般財源	3,894	2,560	1,124

4. 事業の成果

評価指標		単位	年度	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年
指標	目標	実績					
		達成率(%)		0.00	0.00	0.00	0.00
	指標の説明	法令等による市の事務であるため、					
指標	目標	実績					
		達成率(%)		0.00	0.00	0.00	0.00
	指標の説明						
指標	目標	実績					
		達成率(%)		0.00	0.00	0.00	0.00
	指標の説明						
指標	目標	実績					
		達成率(%)		0.00	0.00	0.00	0.00
	指標の説明						
指標に基づく評価	法令等により市の事務となっているため、目標指数設定なし。						

5. 事業に対する評価

現状と課題	課題はない		
これまでの見直しや改善等の実績			

6. 今後の方向性

短期的な方向性		継続	中長期的な方向性		継続
目標年度	平成29年度		目標年度	平成33年度	
方向性の説明	5年毎に実施されるため、適正、的確な調査が実施できるよう、体制を整える。				

平成28年度 事務事業評価シート

<事業の名称等>

予算	款	13	諸支出金	項	02	基金費	目	12	寄附市民参画基金費
大事業	051	寄附市民参画基金							
中事業	01	寄附市民参画基金							

1.事業の位置付け

総合計画	基本構想	1	住民とともに育むまちづくり	所管部局	総合政策部
	基本計画	1-1	住民と行政の協働によるまちづくりの推進		企画情報課
総合戦略	政策パッケージ				
	施策				
事業区分	自治事務（任意的なもの）		事業種別	ソフト事業	
根拠法令	有	地方税法等の一部を改正する法律、所得税法、法人税法			
根拠例規	有	坂井市寄附による市民参画条例			
関連計画・マニュアル	無				

2.事業の目的・概要

目的・趣旨	寄附市民参画条例により、市民等が提案した寄附事業の中から、寄附者が指定した事業の財源に寄附金をあてるため基金を設置し広く寄附を募る
実施手続等	次の5つに政策メニューに関し愚弟的な事業を設定し寄附を募集 ○協働 ○教育 ○環境 ○文化 ○地域自治区 【平成28年度末基金現在高】16,095千円

3.事業のコスト

(単位：千円)

		平成28年度	平成27年度	平成26年度
コスト	事業費	7,417	2,978	3,060
	人件費	7,049	3,341	1,616
	総事業費	14,466	6,319	4,676
人員	正職員	1.05 人	0.47 人	0.23 人
	臨時職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	人員計	1.05 人	0.47 人	0.23 人
財源内訳	国県支出金	2,583		
	その他特定財源	4,884	1,989	1,651
	一般財源	6,999	4,330	3,025

4. 事業の成果

評価指標		単位	年度	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年
指標	基金による実施事業	事業	目標	1	1	1	1
			実績	2	2	1	1
			達成率(%)	200.00	200.00	100.00	100.00
指標の説明							
指標			目標				
			実績				
			達成率(%)	0.00	0.00	0.00	0.00
指標の説明							
指標			目標				
			実績				
			達成率(%)	0.00	0.00	0.00	0.00
指標の説明							
指標			目標				
			実績				
			達成率(%)	0.00	0.00	0.00	0.00
指標の説明							
指標に基づく評価	寄附により達成目標事業を2つ実現しており、制度趣旨にそった運用となっている。						

5. 事業に対する評価

現状と課題	有効性に課題	
	寄附額の規模がまだ小さく、市民の夢を実現し市民の市政への参画意欲を押し上げるという視点では、事業規模の拡大が必要	
これまでの見直しや改善等の実績	課題解決のため、翌年度に向けて市民公募の事業規模を拡大し、新たなに募集し決定	

6. 今後の方向性

短期的な方向性		拡充	中長期的な方向性		継続
目標年度	平成29年度		目標年度		
方向性の説明	寄附市民参画制度は、人口減少という課題をかかえる坂井市において、新たな自主財源を確保しつつ、市民との協働によるまちづくりを実現する重要なツールであり引き続き実施していく。				